

行政視察報告

視察日時	令和5年11月14日（火） 10:00～
視察場所	福島県会津若松市
視察項目	「スマートシティ会津若松」が目指すこれからの地域交通ネットワークについて
視 察 者	常任委員会委員8名 同行当局職員1名 事務局職員1名
視察概要	<p>会津若松市では、ICTを積極的に活用した「スマートシティ会津若松」を目指す同市の交通分野における取組として『会津 Samurai MaaS プロジェクト』に取り組んでいる。官民連携でMaaS実装を目指し、地元交通事業者・大学・企業・自治体などを中心に、令和元年に協議会として発足した（会津若松市は令和2年に参画）。市内の鉄道やバスが乗り継げ、観光施設も利用できる「会津ぐるっとカード」や「まちなか周遊1日バスフリー乗車券」などが実施されている。</p> <p>また、日常生活においても、現状の定時・定路線の運行で満たしきれない移動需要への対応や需要の創造のために、仮想の乗降ポイントをアプリの地図上に設け、行き先を入力するとAIが複数の利用者の希望を踏まえた最適なルートを選択し、目的地の最寄りの乗降ポイントまで運行するAIオンデマンド型路線バスの実証運行を行っている。利用実績の分析や課題の整理を行い、運行エリアの拡大や時間の変更などを行いながら、運行の効率化と利便性の向上を目指している。このサービスはスマホアプリでの予約限定になっているため、スマホが使えることが前提となるため、路線バスの利用が多い高齢者向けにスマホの専用アプリの使い方教室などを実施している。</p>
本市に生かせる視点	<p>会津若松市では、ICTを活用した「スマートシティ会津若松」に取り組んでいることが背景にあるが、今後ICTの活用は本市においても積極的に行っていく必要がある。経験や憶測ではなく、実際の人流や利用実績のデータを分析することで、より効率的な運行や利便性の向上を図っていきたい。</p> <p>また、スマホアプリを活用したサービスとなると、スマホが使えるない市民は利用できないことになるため、スマホの使い方教室などのサポートも必要になってくる。</p> <p>さらには、地域住民や交通事業者などの関係者と課題や意識を共有することで、実効性や機動性のある「動きやすい体制づくり」が必要であると感じた。</p>